

地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成20年 9月25日
事業所名	医療法人悠山会 グループホームファミリア元八事
ユニット名	Bユニット
事業所番号	2371601234
記入者名	職名：管理者 氏名： 加藤 真清
連絡先電話番号	(052) 832-8017

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>変わらぬ生活が送れるように心がけ、取り組みに力を入れています。今までと変わらないアットホームな雰囲気作りを目指しています。</p>	<p>管理者と職員が今まで以上に連携し、より過ごしやすい環境になるよう話し合っていく。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>地域の方とは散歩や買い物を通し、触れ合いを大切にしています。・家族には話の中で、理念の説明を行っており理解をしていただけていると思います。</p>	<p>民生員などに声掛けを行い、地域との請うりゆを試みましたが、地域の方々が一歩引いているようで、なかなか進展がありません。散歩などを通し、挨拶をする事で、認知はしていただいていると思います。今後も土地柄にあった方法で交流を図って行きたいと思っています。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>挨拶に心がけ、いつでも立ち寄って頂けるよう、声掛けを欠かさないように努めています。</p>	<p>地域での幼児の参加を考えています。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>行事を行いご家族に呼びかけ参加していただいている。・なかなか交流が取れていない</p>	<p>老人会などお年寄りに関係する事についての声掛けをしてもらえるようになりました。今後地域の掃除に参加をしていき、少しずつ交流が持てればと思っています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>ご近所をよく会話をする人には「出来る事は無いか」「困っている事は無いか」相談にのっている。</p>	<p>声のかけやすい環境を第一に考え、小規模な地域掃除などへの参加から始めて行きたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価・外部評価を受ける事で、サービスの見直しをする事が出来るのではないかと。他者の目が入る事で向上へと繋がっていくのではないかと。</p>	<p>再度地域の方への働きかけを行い、向上へと繋げて行きたい。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見を活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回役員で構成しており、行事内容の報告、施設内の現状についても方向しております。・役員以外の方には報告書を通して伝達し、意見を頂き次回へと反映しております。</p>	<p>再度地域の方への働きかけを行い、工場へと繋げて行きたい。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>疑問のある時は、電話などでご指導をいただいています。わからない事を質問し、答えを導き出す事がサービスの向上だと考えています。</p>	<p>必要に応じご指導を頂いていく。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>理解はしていますが、現時点での活用はなし</p>	<p>必要に応じ適切に活用出来るよう、日々勉強して行きたい。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>スタッフ間で声を掛け合い、スタッフの居場所がわかるようにしている。・また言動は十分注意するよう指導を行っている。</p>	<p>スタッフ間での定期的な見直し・再確認を行っていく。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約・解約の際は、書類を通し十分な説明を行い、1つずつご理解・納得をして頂いている。</p>	<p>今後も利用者様・ご家族の不安の解消に努める。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>常に利用者様の言動・表情に注意をし、相談し易い雰囲気作りを心がけ、またスタッフからも声掛けをしています。相談内容は朝のミーティングで職員に伝達し検討をして行くようにしている。</p>	<p>介護記録を活用し、皆が悩みを共有できるようにする。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>面会時または状況・状態の変化に応じ、その都度連絡をしています。全体への連絡事項は、請求書と一緒に同封し報告しています。</p>	<p>今後も迅速に対応が出来るよう、継続していく。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族から頂いた意見は、その都度ミーティングにかけ、検討している。また新年会などを通し、ご家族同士での交流も少しずつ図っていただいた居ます。</p>	<p>お茶会や食事会など、ご家族との時間を作り、お互いの意識が向上できるように試みていく。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎朝のミーティング及び毎月のミーティングでスタッフの話し合いの場を作っている。・話し合いの場が少ないように感じる。</p>	<p>職員同士の意見交換により、意識の向上・責任感へ繋がるよう、今まで以上にコミュニケーションを大事にしていく。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>その都度話し合い、勤務の調整に努めている。 ・施設長との話し合いで、人員確保に努めている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者様第一と考え、ダメージが少ないよう運営者と話し合っている。非常勤ではなく常勤雇用に努めている。・移動が必要な場合もあるため、馴染みの顔が沢山居るよう職員の固定に勤めている。		移動のやむ終えない時はあるが、利用者様にとって負担の掛からないよう、スタッフ間の情報交換を強化していく。
5.人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格手当での支給により遣り甲斐を持ってもらえるようにしている。・スタッフの意見を取り入れながら法人での勉強会を行っている。・送られてきた研修内容は誰でも見てもらえるようにしている。		法人だけでなく、必要に応じて各施設でのプチ勉強会を開催し、質の向上を図って行きたい。また、解らないことはその時に解決が出来るようなスタッフの交流作りに努める。
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市・地区の交流会に参加し、他施設とも情報交換を行っている。・多数参加の出来るものに関しては、職員に呼びかけをし出席してもらいサービスの向上を目指している。		職場内だけでは解決出来ない問題や悩みを発散できる場だと考えてます。情報交換し、刺激を受ける事で向上心へと繋がればと思います。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	月に1度のミーティングにより、職員の意見交換を行いコミュニケーションを図る様にしているが、全ての職員が発言するわけではない。年に数回職員での宴会を開催しています。・相談がしやすい様、事務所に居る時間を管理者は作っています。		職員1人1人が何に不安・不満を感じているのか、話し合う機会を増やしていく。
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員1人1人が遣り甲斐を持って努めてもらえるよう努力・実績について把握しており、役職対価にて報えるよう給料面でも反映をしている。		表情の良いご利用者様を見ると、職員が努力している事を実感する。向上心をもって貰えるように、職員からの提案により法人で勉強会を行っており、今後も強化に努める。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	傾聴に心がけ、共に考え行動するよう勤めている。	ご家族・利用者様の思いを理解し、納得のいくような取り組みが出来る余蘊いして行きたい。
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	ケアマネ・管理者が対応している。・相談には納得がいくまで時間を取り、相談者の思いを理解するように勤めている。	ご家族・利用者様の不安を傾聴し、思いを一緒にする事で、信頼関係を築いていく。
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	頂いた情報を素に、スタッフ間での話し合いをし、対応を決めている。	1つではなく、幾通りかの選択肢があるよう、様々な角度から助言が行えるように努める。
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	家族と良く情報交換をし、職員が確認をしながら、進めている。現状の様子を話し合い、少しずつ距離を縮めていけるよう勤めている。	すぐに結果を求めるのではなく、個々のペースにあわせ、有意義な日々を送って頂けるよう、サービスの提供に努める。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	利用者様の出来る事・手伝って欲しいことを判断し、個々を尊重し、良い関係が築けるよう勤めている。	焦るばかりではなく、ゆったりとした時間の中で、傾聴に心がけ、今まで以上に何でも話し合える関係を築いていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の話に傾聴し、一緒に考えるようにしています。ご家族の来所時には、声かけ会話をもち気持ちを共有し合える関係作りに努めている。		家族とは違った方法で、利用者様が安心して過ごせる関係を築いていきたい。
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族からの情報はミーティングなどを通し職員で共有し、統一した返答をご家族に返せるように、努めている。		今まで以上に、職員が一丸となり、親身に対応していけるように努めている。
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の協力のもと、関係が絶ち消えないように、努めている。		1人1人全ての要求となると限界がある為、少しでも満足していただけるよう、時間の配慮をし支援に努めていく。
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員が間に入り、利用者様の交流を図っている。・歌などを通し、交流を図っている。		ここにあった、対人関係を築けるように努めていく。
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	管理者より季節の挨拶など手紙を送り、いつでも連絡して頂けるように配慮している。		今後も断ち切らないよう、続けていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>傾聴に心がけ、個々の希望に出来るだけ近づけるよう努めている。</p>	<p>一瞬一瞬を大切にし、次へと繋がるケアが出来るように努めていく。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>ケアマネージャーより生活歴や対人関係など情報収集に努めている。</p>	<p>利用者様・ご家族との信頼関係を築くためには、今後もコミュニケーションの向上に努めていく。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>気のついた事は、そのままにするのではなく職員で話し合い、職員全体が現状の把握が出来るように努めている。</p>	<p>職員間のコミュニケーションを今以上に強めて行きたい。</p>
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>サービス担当者会議の中で、家族の意見も念頭に入れ、反映させながら、各職員の意見交換によって、より良いサービスが提供できるように努めている。</p>	<p>家族と職員との連携強化に努める。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>日々の申し送りの中で見直しを行っており、ご家族に状況説明の後、計画を立て直す形を取っています。</p>	<p>職員の気付きを反映できるよう取り組んでいく。 ・職員の意識向上に努める。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人介護記録は24時間を通し記入し、1日の状態が把握しやすい様にしている。記録の書き方にムラがある。</p>		<p>記録の重要性を勉強会などを通し指導し、強化に努めていきたい。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>要望に応じ、出来る限り支援している。</p>		<p>職員1人1人が対応するのではなく、チームケアにて状況報告を密に行い対応が出来るように努めていく。</p>
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>社協とはボランティアの事で良く連絡を取っている。・ボランティアの受け入れをしている。</p>		<p>地域に適した型での係わり合いをすると共に、公共機関との関わりは強化するよう努めていく。</p>
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>交流会などで、他のケアマネさんとの情報交換は行っているが、今のところ他のサービス利用は無い</p>		<p>必要に応じ検討して行く。</p>
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>協働していない。</p>		<p>必要に応じ検討して行く。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週1回かかりつけ医の往診があり、健康管理に努めている。・病状により医師と連携をとることで適切な対応が出来るように努めている。		他院との関係を築いていくためにも、情報提供を今後も行っていく。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	週1回の往診時に看護師により、かかりつけ医に報告・相談などを行い、それに応じた治療が受けられるように支援している。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療連携体制をとっており、往診時またはその都度連絡を取り相談している。・看護師と日常健康管理や医療活用の支援を行っている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入退院時には、医師・看護師などと連絡を取り、情報交換を行った上で対応できるよう備えている。・		緊急時の対応に備え、受け入れ先との連携強化に努めていく。
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	病状・状況について医師と相談をしながらご家族への説明を行い、ご家族間での話し合いの場を必ず設けて頂く事で、関わる人全てが共有できるよう努めている。		悔いの無い時間を過ごして頂けるよう、家族・医師・職員が一丸となり、日頃からの連携に努めていく。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご家族の気持ちを深く理解した上で医師と密に話し合い、指導のもと支援している。		安心して終末期を迎えられるよう、医療連携の強化に努めていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	生活習慣・性格など、その方を理解して頂けるよう情報提供をしている。		その方を理解し、信頼関係が築けるよう今後も支援していく。
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者様に対する言葉遣いなどに注意をしている。・悩み事を話す時は出来るだけ居室に入り個別対応をしている。		自尊心を尊重し、敬意を持った対応に心がけていく
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	傾聴に心がけ、話しやすいよう職員から声掛けをし、自己決定をして頂けるよう支援して行く。		時間をかけゆったりと会話の出来る環境づくりに心がける。
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の流れが職員の都合になっている。個々それぞれ過ごしやすい場で過ごして頂けるよう支援している。		職員のペースで事が運んでしまう事があり、個々に合せた日々の過ごし方を送って頂けるよう見直しを行っていく。
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	2ヶ月に1度、美容室の出張サービスを利用し、本人の希望でお願いしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	月に数回特別食とし、準備・食時を楽しんでいただけるよう支援している。		利用者様と共に協力できるよう努めていく。
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	身体状況に合わせ、可能な限り支援している。		
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々にあった、援助にて快適に過ごして頂けるようととめている。・失敗に対し、自尊心を傷つけないようにする。		状態に合った援助が来ているか？常に考えながら援助に当たれるよう行っていく。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ご本人の希望で対応をしている。拒否のある方は、上手く入浴の誘いができた時を記録に残し共有している。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	1人1人の体調にあわせ、就寝時間だけでなく、ゆっくりと休息をとっていただくようにしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	それぞれの行える事を役割分担し、それが励みとなり、遣り甲斐を感じていただけるよう支援している		日々の生活が、張り合いのある充実したものであるよう、個人のリズムを尊重して行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個別対応にて、お金の管理など把握し、支援している。		今後もご家族と話し合い、対応に努める。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	全てではないが、職員付き添いのもと、外出支援を行っている。		利用者様の時間で1日が過ぎていくよう、スタッフが利用者様に合わせていく。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年に2回の行楽や行事とし行っている。・全てではないが希望に沿えるよう援助している。・ご家族と外出の機会が持てるよう、話し合っている。		今後希望を受けつけ、家族との外出の機会を増やして行きたい。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族と良く相談をし、希望に応じられるよう努めている。		これまでの、交友関係が途絶えないように、今後も努めていく。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来訪時には笑顔を絶やさず不快感を与えないよう努めている。・ゆっくりと話をして頂くため、居室やリビングなど自由に過ごして頂けるよう支援している。		親しみを持った対応に心がけ「また来よう」と思っただけできるよう努めていく。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について理解をしたうえで、ご本人や他利用者様の危険が回避できない理由をご家族に理解頂き、必要最低限で行っている。		定期的な見なおし(必要かどうか?)を行っていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室の鍵はご本人にお任せしている。・玄関の鍵はエスケープ防止・侵入者対策の為施錠しているが、必要に応じて開錠し対応している。		開錠の検討をしましたが、知らない間の外部からの訪問者の侵入が数回あり、危険を感じたため、今後どうして行くのが再検討中です。
67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	定期的な巡回。職員同士の声掛けにて安全確保をしている。		今後も続けていく。
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	必要に応じ、物品の保管場所の検討など管理に取り組んでいる。		ご利用様が安全に過ごして頂けるよう、力に応じ対応は行うが、最終管理の徹底をして行く。
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	マニュアルはあるが、忘れてしまう事がある為、再確認が必要だと感じる。・事故防止のため、必ず見守りを行っている。		定期的な見直しを行うと共に、勉強会での意識向上を図っていきたい。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルを作成し、各自で目を通すようにしているが、見直しが行えていない。		定期的な見直し勉強会を行い、理解を深めるよう努めていく。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練が行えていない。・マニュアルはあるが、把握していない。		職員による非難訓練を定期的に行うようにする。・ミーティングの中でマニュアルについて、定期的に触れていくようにする。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	起こり得るリスクについて説明をし、もしそうなった場合の対策を共に考え、ご家族と職員で共有をしている。		ご家族の信頼関係を日頃より十分に図っていく。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	小さな変化もすぐに職員間で共有し、すぐに対応が出来るようにしている。・常時医師との連絡が取れるようにしている。		職員の意識向上を図ると共に、新しい職員の指導も十分に行っていく。
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師からの説明後、個人記録にある服薬情報にて再確認をしている。		薬の知識・理解に努めていく。
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分補給や果物を摂っていただき、適度な運動を取り入れ取り組んでいる。		食事量や体調の変化に注意をして行く。
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	定期的な口腔歯科往診を依頼している。毎食後の口腔ケアを見守りに行っているが、指導により清潔が保てるように努めている。		感染予防のためにも、口腔ケアの徹底に努める。
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に合わせた量・携帯で対応をしている。・記録に残す事で、伝達をし身体状況に合った対応をしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	往診医による予防接種。・手洗いうがいの促しを行っている。		うがい・消毒の徹底に努める。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具の消毒を毎日行っている。・冷蔵庫の点検を週1回行い、保清に努めている。		施設内感染を意識し、今後も清潔に努めていく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	腰を掛け、靴の着脱が出来るよう長いすを設置している。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	レクリエーションでの季節毎の作品の展示。・排泄後、必ず確認を行い、保清に努めている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個々が自分のペースで思い思いの場に居られるよう支援している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	家族と相談の上、馴染みある家具など配置し過 しやすい空間作りに努めている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	温度調節をこまめに行っている。においの強い時 は消臭剤や窓を空け換気をしている。		毎日少しの時間窓の開放を行い、換気に取り組ん でいく。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	役割分担により、身体を動かして頂けるよう支援 している。		今後も、その方々にあった方法を探し、安全を確 保しながら支援して行く。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	案内や目印などでわかりやすくしている。・場所 が覚えにくい方には、先回りするなどし誘導して いる。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	庭で家庭菜園を行い、季節の野菜の収穫を職員と 共に楽しんでいる。・洗濯を干して頂いたり出入 りを自由にして頂いている。		今後も続行して行く。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

皆さんが笑顔を絶やさず、1日1日ご自分の流れの中で安心して過ごして頂けるように心がけてケアに取り組んでいます